



～2023年度メセナ活動実態調査結果～ 「人を活かすこと」を重視する傾向が強まる

公益社団法人企業メセナ協議会(東京都港区芝 5-3-2、理事長:夏坂真澄)が全国の企業・企業財団を対象に毎年実施する「メセナ活動実態調査」の2023年度の結果がまとまりました。
調査結果をまとめた『Mécénat Report 2023』を3月26日に発行。協議会ウェブサイトから閲覧が可能です。
また、2023年度メセナ活動実態調査報告会を開催します。詳細は後日弊会ウェブサイト等でお知らせします。

メセナ活動とは…「芸術文化による社会づくり」を幅広く捉え、企業による芸術文化支援、およびこれを通じた教育、福祉、環境、地域振興等のあらゆる社会課題解決への取り組みを指します。

【2023年度調査結果の主なポイント】

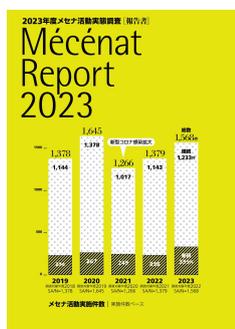
1. コロナ感染拡大の影響を最も受けた2021年度調査(調査対象年度2020)に比べ、メセナ活動の実施件数が前年に続き増加し、回復傾向が鮮明になっている。
2. 「地域」とともに、「人を活かすこと」がメセナ活動の目的として重視される傾向が強まっている。
3. メセナ活動における障がい者の方の文化芸術活動支援について、「鑑賞/作品発表の機会拡大」などのほか、「作品の販売」などを通じた新たな価値創造へのチャレンジが進んでいる。

【2023年度メセナ活動実態調査 調査概要】

調査内容	2022年4月～2023年3月のメセナ活動実施状況、実施内容、体制など
調査対象	国内企業 2,088社、国内企業財団 309団体
調査方法	郵送およびメセナ活動実態調査ウェブサイトシステム等によるアンケート調査
回答数	企業 518社(対前年+1社)、企業財団 192団体(対前年+5団体)
活動総件数	企業 1,568件(対前年+189件)、企業財団 639件(対前年+46件)
活動費総額	企業 190億5,432万円(回答社数272社、1社平均7,005万円) 企業財団 547億5,304万円(回答企業財団数176団体、1団体平均3億1,110万円)

【2023年度メセナ活動実態調査報告書『Mécénat Report 2023』主な掲載内容】

<https://www.mecenat.or.jp/ja/wp-content/uploads/MecenatReport2023.pdf>



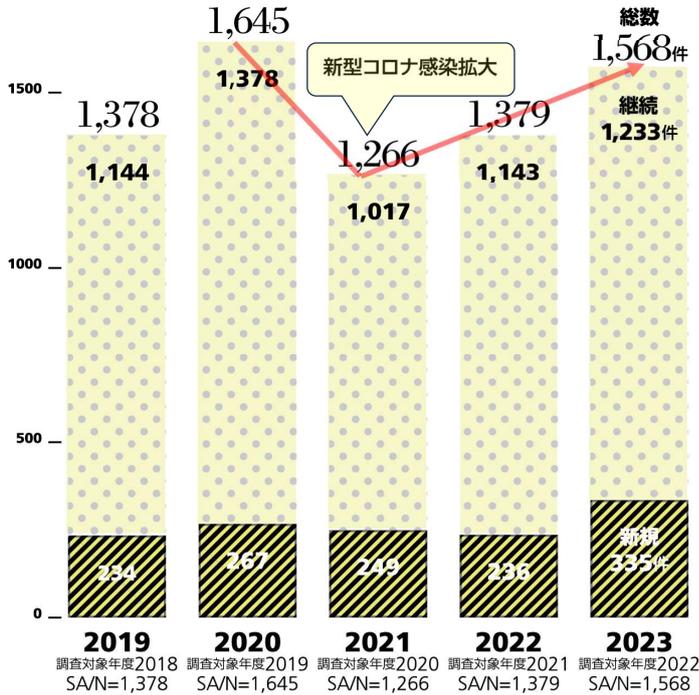
1. 取り組みの目的・重視点
 2. メセナ担当部署
 3. 社員参画
 4. メセナ活動の基本方針
 5. 事後評価・活動の成果
 6. メセナ活動内容
 7. 活動事業費
 8. 予算策定方法
 9. 財団の回答分析
- ◎ 新型コロナウイルスによるメセナ活動の変化の有無と継続意向について
 - ◎ 障がい者の文化芸術活動の支援状況について

事例紹介企業/財団 ※報告書掲載順

[株]モデュレックス
ダイドーグループホールディングス[株]
大分県信用組合
[株]淀川製鋼所
三浦工業[株]
世嬉の一酒造[株]
[公財]クマ財団
[公財]上原美術館
[株]ヤマト
[株]兵左衛門

ポイント1. コロナ感染拡大の影響を最も受けた 2021 年度調査(調査対象年度 2020)に比べ、メセナ活動の実施件数が前年に続き増加し、回復傾向が鮮明になっている。

メセナ活動実施件数 | 実施件数ベース



■企業によるメセナ活動実施件数について、直近5年の推移を見ると、コロナ前の2020年度調査(調査対象期間 2019)に比べ、2021年度調査(調査対象年度 2020)は1,266件、対前年-379件と大きく減少した。

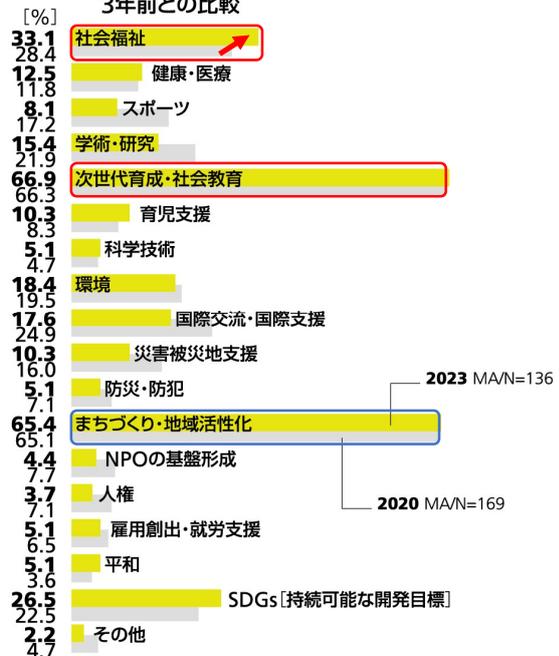
しかし、2022年度調査(調査対象年度 2021)では1,379件とやや回復し、本年度調査(調査対象年度 2022)では1,568件となり、回復傾向が鮮明となった。

ポイント2. 「地域」とともに、「人を活かすこと」がメセナ活動の目的として重視される傾向が強まっている。

a. 芸術文化支援のために重視した点 | 3年前との比較



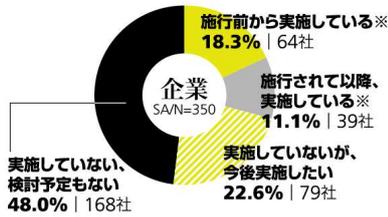
b. 芸術文化による社会課題解決のために重視した点 | 3年前との比較



■企業によるメセナ活動の目的・重視点について、「若手芸術家支援」や「社会福祉」などの回答割合が3年前に比べ伸びており、「次世代育成・社会教育」も引き続き回答割合が高い。メセナ活動が「地域」とともに、「人を活かすこと」を重視する傾向が強まっている。

ポイント3. メセナ活動における障がい者の方の文化芸術活動支援について、「鑑賞/作品発表の機会拡大」などのほか、「作品の販売」などを通じた新たな価値創造へのチャレンジが進んでいる。

障がい者の文化芸術活動の支援状況 | 企業数ベース



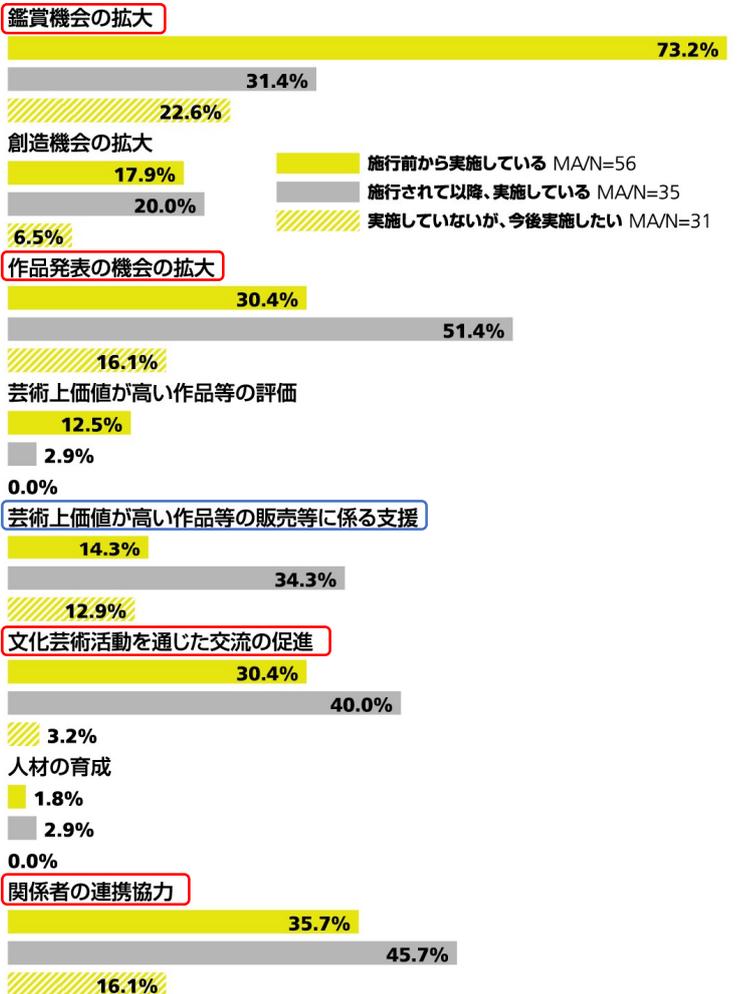
※平成30年施行「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」

■「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が2018(平成30)年の施行から約5年経過したことから、今回の調査で障がい者の文化芸術活動の支援状況についてたずねたところ、企業では「実施している」または「今後実施したい」の回答割合が5割強となった。

支援活動の内容を見ると、「鑑賞機会の拡大」、「作品発表の機会の拡大」、「関係者の連携協力」および「文化芸術活動を通じた交流の促進」などの割合が高かった。

また、「芸術上価値が高い作品等の販売等に係る支援」への取り組みに関する自由記述も集まり、「作品の販売」などを通じた新たな価値創造への取り組みが企業で進んでいることが確認できた。

支援活動の内容 | 企業数ベース ※自由記述をもとに集計



※支援活動の内容は、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が定める11の施策とした。なお、11の施策のうち、「権利の保護」、「相談体制の整備」、「情報の収集」については、同法の内容にそった自由記述はなかったため、上記グラフでは非表示とした。また、11の施策にあてはまらない「検討中」などの自由記述は「その他」として集計し、上記グラフでは非表示とした。

助成：  文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（次代の文化を創造する新進芸術家育成事業））
独立行政法人日本芸術文化振興会

■公益社団法人企業メセナ協議会

芸術文化振興による社会創造を目的として、企業をはじめ文化にかかわる団体が参加、協働する民間の公益法人。創造的で活力にあふれた社会、多様性を尊重する豊かな社会の実現に寄与すべく、企業メセナの推進を中心に、芸術文化振興に関する調査研究、認定・顕彰、助成、交流、発信等の事業を行う。

会長：二宮雅也（SOMPOホールディングス[株]特別顧問）、理事長：夏坂真澄（花王[株]前顧問）。

正会員・準会員：136社・団体／個人会員：26名（2024年2月29日現在）。

【本件に関するお問い合わせ先】公益社団法人企業メセナ協議会 広報：佐藤／調査研究：藤本

Tel:03-5439-4520 Fax: 03-5439-4521 E-mail: press@mecenat.or.jp

〒108-0014 東京都港区芝 5-3-2 +SHIFT MITA 8階 <https://www.mecenat.or.jp>